

大項目	配点	配点	中項目（評価指標）	評価の着眼点（主なチェックポイント）
1. 事業者の体制・実績	15	5	① 業務実績	直近5年間における自治体施設でのLED改修実績（概ね1,000灯規模）があるか。
		5	② 実施体制	統括責任者・設計・交換・保守の役割分担が明確で、必要な要員が確保されているか。
		5	③ 技術者資格	監理技術者・主任技術者など有資格者の配置計画が適切で、現場管理体制が十分か。
2. 機器の性能・提案	25	10	④ 規格適合・品質	製品がJIS/JLMA等に適合し、故障率や品質管理、供給継続性に関する根拠が示されているか。主要部材の標準納期や在庫・供給根拠（メーカー文書等）が明示されているか。
		10	⑤ 省エネ・環境効果	提案機器の省エネ性能（固有エネルギー効率、既設比の削減量等）と環境配慮について記載されており、その内容が妥当か。算定根拠（カタログ値・試験値等）が明確で妥当であるか。
		5	⑥ 照明設計の質	JIS等の基準を踏まえ、各室の用途に応じた明るさ・見え方が確保された、利用者にとって支障のない照明計画となっているか。
3. 調査・設計・交換計画	30	7	⑦ 安全・法令適合	アスベスト調査、PCB対応、配線改造時の絶縁・保護措置等、安全・法令順守が具体的に示されているか。
		10	⑧ スケジュール	機器の供給体制や標準納期を踏まえた実行性の高いスケジュールとなっているか。また、遅延が生じた場合の代替策や、施設を供用しながら交換する際の影響最小化（停電、動線、騒音等）について、具体的な対応方針が示されているか。
		6	⑨ 調査・判断基準	契約後に実施する現地詳細調査を見据え、既設照明設備の状態や使用環境等をどのような観点で確認し、その結果を踏まえて、交換方式について市にとって合理的かつメリットのある判断を行う考え方や基準が整理され、調査手法が明確に示されているか。
		7	⑩ 交換方式の妥当性	器具交換またはランプ交換（ガイド301準拠）の選択理由が、安全性・性能・ライフサイクルコスト・保証の観点で妥当か。
4. 維持管理・保証体制	15	8	⑪ 保証期間中のサポート体制	不具合時の初動対応、連絡体制、代替器具提供などサポート内容が明確で実効性があるか。
		7	⑫ 保証範囲・期間	保証期間や対応範囲が明確で、交換方式との責任分界が整理されているか。
5. 地域貢献度	5	5	⑬ 市内事業者の活用	市内事業者の活用について、役割や範囲が具体的に示され、実効性のある計画となっているか。
6. 見積書	10	10	⑭ 価格の妥当性	価格評価対象額（PCB含有確認及びアスベスト対応等の費用を除く）について、提案された交換方式・内容に照らして妥当な水準となっているか。
7. 環境配慮（任意加点）	5	5	⑮ 環境配慮の独自提案（任意）	地域環境への配慮や本市環境施策との整合が図られているか。また、本事業に付加価値を与える具体的かつ実効性のある環境配慮提案（例：地域特性を踏まえた取組、将来展開を見据えた工夫、波及効果が期待できる仕組み等）が示されているか。

105 105 ※環境配慮（任意加点）を含め105点満点